

会 議 録

会議名	平成 28 年度第 1 回八王子市博物館協議会
開催日時	平成 28 年 5 月 24 日(火)午後 6 時 30 分～8 時 30 分
開催場所	コニカミノルタサイエンスドーム 会議室
出席者	委員 小野一之、大村のり子、柿崎博孝、佐藤栄子、佐藤一、田野倉宏和、 藤岡換太郎、本田怜子、吉田幸子、 (50 音順)
	事務局 叶清こども科学館長、中正由紀郷土資料館長 (文化財課長)、森融こども 科学館専門幹兼主査、尾崎光二郷土資料館担当主査、中村善行郷土資料 館担当主査 佐藤友紀郷土資料館担当主事
欠席者	山中幸生委員
議 題	協議事項 1. 新郷土資料館の基本構想(使命)について 2. 平成 27 年度八王子市こども科学館及び郷土資料館事業実施状況と施 設評価について
公開・非公開の 別	公開
傍聴人の数	2 名
配付資料名	会議次第 新郷土資料館整備に関する提言書 提言書に関する意見 平成 27 年度 郷土資料館事業実施状況 平成 27 年度 こども科学館事業実施状況

会議の前に今年度の人事異動(こども科学館叶館長、郷土資料館佐藤主事)について、中正館長より紹介。新郷土資料館の基本構想(使命)について八王子市郷土資料館尾崎主査から説明。
説明後、佐藤一委員よりレジュメが配布される。

佐藤一委員 先日は時間がギリギリでうまく伝わらなかった部分もあるということで、再度提案をまとめさせていただきました。これをまとめるに当たりまして、従来の博物館をタイプ別に見た図を作りました。これを細かく見ていくことはしませんが、新郷土資料館を考える上で、こういったものをミックスしてさまざまな要素を参考にする必要があります。それから目的も基本的にはインターネット等の ICT を活用していくのが大きな要素になっていくかと思います。これからの博物館で ICT 技術を利用したシステムを考えない博物館はありえないということで、あえてそれを入れさせていただきました。それから先ほどご説明のあった理念の部分につきましては、八王子の「歴史」や「文化」等の言葉がさまざまところで使われておりますので、ここでは全体像として「歴史と文化から想像する八王子の未来」そして「未来へ躍動する資料館の創造」という形にしたらよいのではないかと、というのが一つです。それから使命につきましては先ほど詳しい説明がありました。私の方でいくつかの分類をしております。基本的には大学・研究所などは「知の活用」といった表現をしております。調査研究・生涯学習の拠点という意味で、知りたい・学びたいという要望にこたえていくということです。それから学校教育の連携ということで子供たちに八王子を好きになってもらう。八王子を自分の心の中に入れてもらう。見たり触れたり、模型やジオラマ、バーチャルリアリティなどをふんだんに使って子供たちが興味関心を持ってそれらに触れることができる。そういったシステムが必要になってきます。次に一部「知の活用」の部分と関連する部分が出てきますが、大学の学生などの協力を得てさまざまな事業を実施したりすることが考えられます。それから従来からある計画の中で「気楽に訪れる場の提供」を掲げております。物のコンビニに代わる知識のコンビニに言及していくという博物館構想というものが。先ほどご説明があったとおり、資料収集・整

備保存・調査研究・展示など、これはどこの博物館でも基本的な概念ですね。その基本的な概念をどんなものが取り巻いているのかということを見ると、例えば修復であったり、学会であったり、同時に八王子市と大学・学校・こども科学館・その他関連施設との通常連携に加えて、ネットワークでつながることでそれを利用した特別展や収蔵資料をネットワークで公開していく。これは大学をはじめ、世界的な人々が閲覧できるシステムを構築してはどうかということで、その概略が3ページに書いてあります。また同ページ中程にネットワーク環境を中心にジオラマ・VRなどを使い、随所に来館者を飽きさせないシステムの構築が大事であるとまとめ、前回の説明でうまくまとまらなかった部分を含めて説明いたしました。

小野会長 佐藤さんありがとうございました。今回のご意見は事務局案に抵触するものではありませんが、これを踏まえましてより具体化しているところもあると思いますので、今このご意見に対して議論することはいたしません。付帯の提言ということで事務局の方は受け止めていただければと思います。

吉田委員 前回よりもずいぶん整理されてまとめられていると思います。4番の新郷土資料館の機能というところですが、拡張機能は今までのことが土台になっているのだからそこをもっと強調してほしいし、もっと煮詰めていこうということが「土台」になっているのだからそれを頭にもってこないで、下に持ってきて、基本理念は歴史と文化から八王子の未来を創造するというので4つを掲げて、それを充実することで今度は拡張機能としてやっていきたいという説明だったと思うのですが、わたしの考えていたイメージと少し異なっておりました。もう少し図をスッキリさせて考え方が伝わるような工夫をしたら良いのではないかと思います。

また前回とてもこだわっていたのが大学との連携ということで、大学や民間と連携していく中で、八王子はもっと「地元だから素晴らしいんだぞ。」ということを遠慮しないで自慢してよろしいかと思います。謙虚になる必要はないと思うので、そういったところを自慢にして、売りにして、4番目の機能の図柄をもう一度工夫すると誰が見てもわかりやすいものになるのではないのでしょうか。八王子らしさというのは、アナロ

	<p>グを上手に使うって広い世代に渡る郷土資料館ということだと思いますので、もう一息頑張ってもらいたいと思います。</p>
藤岡委員	<p>基本的な考え方は全く賛成ですが、一つこれはやった方がいいと思うのが、郷土資料館が発足してから今までどのようなことをやってきたのか、どのような成果があったのか、一種の過去を振り返るような、「それを踏まえた上で新しい理念へ向かう。」というまとめのようなものを簡潔に載せる。そういう発想の方が良いのではないかと思います。</p>
小野会長	<p>これまでの実績というのも大きな問題ですから、それも踏まえて事務局に判断してもらおうということ。</p>
尾崎主査	<p>今までの報告ではどちらかといえばできなかった事を考えて報告ができずにいたので、今後できた事をもう少し報告できるようにしていきたいと思います。</p>
藤岡委員	<p>いつもすごく良い成果を出しているの、それを表に出していいことは必要だと思います。</p>
柿崎委員	<p>基本理念や使命あるいは目的といったものが、博物館によっては使命が一番上に来て、逆に基本理念が一番上の階層にあり、それで階層化していくということがあるのですが、この基本理念と使命を見ると、似たような事が重なっているように感じます。もちろんそれでも良いのですが、むしろ基本理念を使命に替えてしまって、ここでいう使命は、例えば目標として「このような方向性で進んでいきます。」というような言葉に変えた方がいいと思います。それから更に上層には八王子市の計画、ビジョンがあると思うので、それらとの結びつきというものをわかりやすく説明した方がいいかなという感じがします。</p>
小野会長	<p>事務局は参考にしてください。</p>
尾崎主査	<p>今回の基本計画は市の基本計画等を関連させて作っておりますので、それをわかる形で、表に出るようにしていきますのでよろしく願いいたします。</p>
小野会長	<p>今回の使命のところも、基本的な理念を踏まえての具体的な使命ということが描けているとは思いますが。</p>
大村委員	<p>感想ですが、今回新しい資料を頂いて前回の資料と見比べておりますが、今回の方がコンパクトになっていると感じます。私はこのように会議に出て、事務局からの言葉で補ってもらいながら聴けるのでこの文字面をみて内容がわかるのですが、この資料だけを読んでいると言葉がたくさん出てきて何が書い</p>

	<p>であるのかよくわからないという点と、前回とどこが変わっているのか分かりにくいと感じました。</p> <p>小野会長 他はよろしいですか。</p> <p>尾崎主査 前回委員の皆様から意見を多々いただきまして、また今回も多く意見を頂戴いたしましたので、更に修正しながら、後の調整は会長と事務局で詰めていきたいと考えておりますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>小野会長 皆様よろしいでしょうか。今回の資料の中では八王子独自のものもあらわれていると思います。特に使命の 7 番にあります資料の保管設備と保管スペースのことを謳っている点ですが、なかなか言い出しづらいところを掲げているというところは非常に評価できるところではないかと思えます。それから「誰もが気軽に訪れることができる博物館」というのは先ほど尾崎主査のご説明のところでは気軽に訪れ楽しんでもらうということをおっしゃっていましたが、これは誰もが気軽に訪れ、参加できるということだと思います。これは言い換えれば地域コミュニティの拠点としての博物館というところを基本理念の方へ持っていければと思っております。尾崎主査の説明の中でアイデンティティという言葉が何度も出てきましたけど、昨今いろいろな災害がある中で、地域の歴史的な文化遺産は地域アイデンティティの拠り所だという言葉が最近出てきているかと思えます。その観点から見ても将来の博物館は、その点を一つの使命として掲げていくのは必要だと思います。以上でよろしければ今後の事は事務局の方にお任せしながら、且つ協議会の名前を出していくということで御承知いただければと思います。よろしいでしょうか。そうしましたら 1 つ目の基本構想についての議題は終了とします。</p> <p>次に 2 つ目ですけども、平成 27 年度八王子市こども科学館・郷土資料館事業実施業況と施設評価について、事務局から説明をお願いします。</p>
--	--

	<p>引き続き平成 27 年度八王子市こども科学館事業実施状況（4～3 月期）について、森こども科学館専門幹兼主査から、平成 27 年度八王子市郷土資料館事業（4～3 月期）実施状況について、八王子市郷土資料館中村主査から説明。</p> <p>小野会長 両館とも順調に推移していると思います。何か御意見、御質問のある方はいらっしゃいますでしょうか。</p> <p>吉田委員 両館に質問ですけれども危機管理について、消防署職員を招いての消防訓練となっておりますが、これは地震が原因で火災が起きた想定でしょうか。</p> <p>中村主査 郷土資料館では湯沸室という部屋がありまして、そこから火災が発生したという想定で訓練を実施しております。</p> <p>吉田委員 年に 1 回ですか？</p> <p>中村主査 1 回です。昨年は 11 月 18 日に実施いたしました。</p> <p>吉田委員 近年これだけ地震が起きておりますので、やはり地震と火災の組み合わせの訓練の方が年に 1 回ということもありますので良いと思います。また郷土資料館では救命訓練を実施しておりますが、こども科学館の方では実施していないのでしょうか。</p> <p>森主査 こども科学館では救命訓練は実施しておりません。</p> <p>吉田委員 連日さまざまな方が出入りする施設ですので、難しいとは思いますが実施した方がよろしいかと思えます。AED はあっても使えなかったという事例もありますので、やはりここは実施した方が良いと思います。また以前から思っていたことがあります。それは不審者の侵入の際の対応についてです。学校ではこの訓練も実施しています。今回どちらもリニューアルオープンで設備が変わりますので。また防火扉は防火の時だけでなく不審者侵入の時にも有効です。玄関のところで不審者を抑えるか、それとも 1 階で抑えて、2, 3 階へ利用者を避難させるなど、警察の方から指導してもらえるとよくわかります。防災扉が降りた際に逃げ道ができるかどうかの確認は是非してもらい、防火扉や消火器の設置場所などを考えていただければ不審者対策に有効だと思います。</p> <p>叶館長 防火扉の件につきましては、こども科学館は構造が入口を入れてすぐオープンスペースになっており、構造上、防火扉をそこで下せばすぐそのエリアをシャットアウトできるとい</p>
--	---

	<p>うことは難しいですが、ご意見の趣旨をしっかりと踏まえて、そこが防波堤になるような仕組みは考えていきたいと思いません。</p> <p>吉田委員　もう一つ。もしも本当に地震が発生した場合、子どもたちをすぐ帰宅させて良いものか。今回地震のニュース等がやっておりましたが、学校側がすぐに子どもを帰したことで津波に巻き込まれてしまった例など、地震発生の際の対策・対応はどうするのか。これは八王子市全体の問題なので、これも確認して周知徹底する必要があるかと思いました。</p> <p>小野会長　吉田委員ありがとうございました。今の社会情勢に加えて避難者の対応も受け入れもそうですし、館内にいる利用者への対応なども重要になってくると思いますので、市全体の対応と併せてやっていただけたらと思います。</p> <p>本田委員　前回サイエンスドームの八王子隕石の展示と講演を聞かせていただきました。それと関連して、郷土資料館でも八王子隕石を題材にした講座と展示を実施しているとのことだったので「八王子隕石の古文書を読んでもみよう」という講座を受講させていただきました。八王子には郷土資料館とサイエンスドームというとても良い施設があるので、今回の講座はこの2つの施設が1つの事を一方は八王子隕石を科学の分野から、もう一方は歴史の分野からと、多角的に見ることができて非常に貴重な機会をいただきました。若い方が両方の館の展示を見に来ているのを目撃したり、両館とも幅広い年代の方が来ている姿を見たりして、題材は限られてきますが今後同じものをサイエンスドームの観点から、郷土資料館の観点からという企画をせつかく2つの良い施設があるので続けてほしいと思いました。また郷土資料館も体験教室を増やしたという試みはとても良いと思っております。やはりどうしても講演という形では参加者が受け身になってしまうのですが、今回の講座のように自ら古文書を読んでもという形で参加するという事は、受け身よりももっと知識を広げたい・調べてみたいということが広くなると感じます。ぜひとも体験教室を増やしていく試みは続けてほしいと思います。</p> <p>小野会長　本田委員のおっしゃるとおり、両館で共通のテーマで展示を実施したというのは非常に良かったです。私も郷土資料館</p>
--	---

の方で企画展を拝見しましたけれど、諸史料をあれだけ集成したということで、非常に良かったと思います。それに関連しての一つ質問なのですが、あれだけ諸文献を集めておりますが、一体どこまでが今までわかっていたことで、どこからが今回の調査研究で明らかになった・新事実なのか割合がどうであったのかということと、リーフレットも展示目録のようなものがなかったのが残念に感じました。今回のように集成した成果といったものを記録化または紀要等に発表する予定はあるのかどうかお尋ねしたいと思いますが、いかがでしょうか。

尾崎主査 今回の企画展は、かなり注目を集めました。また会長のおっしゃるとおり、展示目録がないのかという質問が多く見受けられました。実際に古文書講座も2回開催し、2回とも20名キャンセル10名まで受け付けましたが、予想以上の申し込みにキャンセル待ちの枠を増やして対応しました。当初、古文書に興味があるか、講座が成立するのにか心配でしたが、講座実施後のアンケートなどを見ると大変興味深かったということで、事業自体は大成功になりました。実際のところ今まで調査自体につきましては『石川日記』に記載がもともとありましたが、ここで新たに調べて、他の関係する記載が見つかったということでございます。ですから今後も続けていかなければいけないのかと思っております。また立川の国文学資料館や極地研の職員が自治体との共同事業について考えているようで、見学に見えたこともありました。さまざまところでそのような取り組みを考えているようです。今回はその流れの中で早めに取り組むことができ良かったと思います。今のところ新たな研究などを行う予定はありませんが、引き続き研究等は進め、できれば発表したいと思っております。

小野会長 今後の展開に期待するとともに、やりっぱなしにしないようにその成果を共有できるような形を示してもらいたいと思いました。

田野倉副会長 『八王子の基本調査』という資料の中に「芸術文化活動にどの程度関与しましたか？」というアンケートがありました。「郷土資料館や子ども科学館に行きましたか？」というアンケートも加えて市民に問いかける必要があると思っております。

	<p>小野会長 間もなく時間は 2 時間になります。その他事項の報告もご ざいますので今まで出た意見以外で佐藤委員、お願いできま すか。</p> <p>佐藤栄委員 今回の新博物館基本構想(使命)の資料を見させていただ き、前回よりもさらに考えられていると感じました。その中 で 2 つほど。1 つは総合的な物の見方をするという手法が自然 と事業に表れている点、2 つ目はその手法の中で子供が積極的 に知ろうとするためには、その資料や展示物に触れさせた後 にどう問いかけるかということを常日頃考えているんです ね。少し大きくなれば、あなたにとってどう役に立ちますか？ どんなことが自分の勉強している事に役立ちましたか？など という質問があると、問いかけられた側も自分の頭で考えな ければならないため、そういう意味でのどのように教育的指 導をしていくかはこれから皆さんで考えていくことだと思 いますので、それはこの基本理念の使命がしっかりしていれば 当然出てくることだと思います。今回の資料は佐藤一委員の 資料も含め良いものを見せていただきました。</p> <p>小野会長 ありがとうございます。他に無いようでしたら 3 番目のそ の他事項に移ります。何かありますでしょうか。無いよう でしたらあらかじめ佐藤一委員より両館の入館者数の推移につ いてご報告いただけるということですので、お願いいたしま す。</p> <p>佐藤一委員 初めての方もいらっしゃいますので簡単に説明いたしま す。前回は来館者が増加傾向にあるのか、減少傾向にあるの か、データの年度を明らかにしてその傾向を明確にする、と いう目的で 3 年分のデータを基に作りました。その結果、取 り組むべき課題としては講座や特別展はテーマに偏りが ないか、館としての特色、展示内容・展示配置、開かれた博物館 などの視点から来館者へのプレゼンテーション、館の予定・ 情報の提示方法などを検証することで、来館者への満足度を 上げるなどの指摘をさせていただきました。今回はそれだけ ではなく、各月の入館者数が年間入館者数に対してどれくら いの割合となっているのか、という視点で分析をしてみました。 一以降、佐藤一委員による入館者数のデータ分析結果の発表。 その後委員からの質問について佐藤一委員が回答。</p>
--	---

小野会長 ありがとうございました。時間も押してまいりましたので
その他事項に関しましては他に無ければ以上とさせていただきます。

ここにきて新しい資料館構想も具体化に近づいているとい
うことで大いに期待できる場所だと思います。私たちの任
期は3年、最大で9年の委員もおりますが、この9年間とい
うのはちょうどプラネタリウムのリニューアルがあり、その
後八王子城ガイダンス施設のオープン、八王子城跡整備の進
捗、八王子市の中核市への移行など、この9年間は本当に右
肩上がりだったと私は思います。他市の館で厳しい状態が続
く中、八王子市ではこのように右肩上がりですんでこられた
のは非常に素晴らしいことだと思います。そういった9年
間に私たちがこのような形で参加できた事、関わられた事を誇
りにさせていただきます。本当にありがとうございました。

それでは以上で平成28年度第1回博物館協議会を終了させ
ていただきます。ありがとうございました。